

2016年

1
月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

〈発行人・理事長〉

黒澤 久

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

—今月号の主な内容—

「平成28年の新春を迎えて」理事長 黒澤 久……2

公害防止管理者定期研修会を開催 ……………3

視察研修旅行 ……………4

関東甲信越静ブロック会議開催 ……………6

全国鍍金工業組合連合会 第53回全国大会 ……8

埼玉県めっき技術競技会審査会開催 ……………9

トリクロロエチレンの排水基準等の改正 ……………11

川口市産業技術・技能者顕彰制度表彰 ……………11



154号



平成28年の新春を迎えて

埼玉県鍍金工業組合 理事長 黒澤 久



新年明けましておめでとうございませう。

組合会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事と存じます。

皆様には日頃から組合の運営と事業の推進に格別な、ご理解とご協力を頂いております事に、感謝を申し上げますとともに、本年も何卒宜しくお願い致します。

さて、昨今の我が国経済を見ますと、安部晋三政権の第二の「アベノミクス」が発表されました。

総論「一億総活躍社会」を目指す、各論新しい三本の矢

1. 強い経済 GDP 600兆円の達成
2. 子育て支援出生率1・8の実現
3. 社会保障「介護離職ゼロ」を目指す

と有ります。どうでしょう、最初の「アベノミクス」三本の矢よりインパクトが低い感じと思われるのは私だけでしょうか、はたして第二の「アベノミクス」で、どの程度の期待ができるでしょうか？

ただ、政府の意気込みも見えてきます「法人実税率」が2016年4月より29%台に引き下げる方針を固めたようです。

2011年は39%台でしたから

この5年で10ポイント近く引き下げられる事、更に中小企業の設備投資の固定資産税を50%減免等が具体化してくれる様で期待したいです。

そして、今年から「マイナンバー制度」の導入、更に2017年4月から消費税が10%に上がる時の軽減税率の課題など、世の中は目まぐるしく変化しています。そんな中で組合としては今後ともタイムリーな情報を組合会員の皆様に発信して行く事を心掛けて行きたいと思ひます。

昨年、当組合が主催した関東甲信越静ブロック会議で各11都県の問題に、組合員の減少を抱えておりました、当組合も同様であり機会あるごとにお話をさせて頂いておりますが、皆様の近隣で埼玉県

鍍金工業組合に入会していない、金属表面処理関連事業所の誦報を是非に当組合に、ご連絡をいただきますようお願いいたします。

その情報を基に昨年立ち上げた会員開発特別委員会で行動を起し勧誘して行きます、宜しくお願ひ致します。

結びに、組合会員の皆様にとりまして今年が今まで以上に活力を取り戻し飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「公害防止管理者定期研修会」を開催



平成27年10月7日(水)午後1時40分より大宮ソニックスセンターに於いて、組合員企業の公害防止管理者を対象に研修会を開催しました。

渡邊順一環境副委員長の司会で行われ、吉田幸司副理事長の開会の辞に続き、黒澤久理事長が次のように挨拶しました。

「今年6月より改正水質汚濁防止法が施行された。組合員企業におかれては、すでに万全の対応だと思いが、この類の環境規制はますます緩和されることはなく、ますます厳しくなる状況にある。一企業では情報収集や対応は難しく、組合員企業が一丸となって対策をとっていかねければならない、そこに組合の存在価値があると思う。めつき業の現状を組合や全鍍連を通して、県や国に確実に伝えて行きたいと考える。」

続いて、埼玉県環境部水環境課長の葛西聡様よりご挨拶を頂きました。

第一講演は「最近の水環境行政について」と題し、埼玉県環境部水環境課主査井上昌樹様にご講演をお願い致しました。講演内容は、

以下の通りです。

1. 近年の法改正について

① 水質汚濁防止法の改正状況

「トリクロロエチレン」「カドミウム及びその化合物」

② 暫定排水基準の改正状況

「ほう素等4物質」

2. 川の国の取組について

① 埼玉は「川の国」

「埼玉県は川の面積の割合が日本一」等

② 講じた施策

「工場に対する排水規制」「水辺再生100プラン」等

③ 埼玉県の河川水質

3. 異常事故の未然防止について

① 異常水質事故の現状

② 異常水質事故事例

第二講演は、「労働安全衛生法の改正に伴い義務化されたリスク

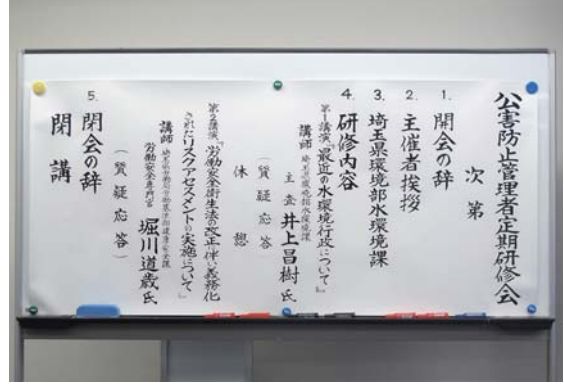
アセスメントの実施について」と題し、埼玉県労働局労働基準部健康安全課労働安全専門官堀川道歳様にご講演をお願い致しました。講演内容は以下の通りです。

1. 労働安全衛生法の改正について

① 化学物質のリスクアセスメントの実施義務化について



- ②リスクアセスメントの実施時期、実施体制について
- 2. 化学物質等の危険性又は有害性の特定について
- 3. 特定された危険性又は有害性によるリスクの見積について
化学物質リスク簡易評価法（コントロールバンディング）について
- 4. リスクアセスメント実施に対する相談窓口、専門家による支援について



最後に、埼玉県鍍金工業組合の組合員企業の環境への意識の高さと前向きな姿勢を継続して頂くためにも、この研修会がその一助になればと願っております。来期以降も各組合員企業及び関係各位のご協力のもと定期研修会を継続し、100%の出席を目指して行きたいと思っておりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

なお各化学物質のリスクアセスメントデータシート作成の参考に、めつき業で該当する70の化学物質のリスクアセスメントの雛形を年度内に全鍍連より各事業所に配布予定です。

また、当研修会に都合で参加できなかった事業所を対象に、平成27年11月26日（木）午後2時より、組合事務所内の会議室で行いました。当日は、研修会のビデオ上映を行い公害防止への再確認と理解をして頂きました。

視察研修旅行

〔富士電機機器制御株式会社 大田原事業所（栃木県大田原市）〕

埼玉県鍍金工業組合は、平成27年11月15日（日）16日（月）の2日間、視察研修旅行を開催した。初日は栃木県日光市にて湯西川水上バスツアー（ダックツアー）に参加後、同市湯西川温泉にて長旅の疲れを癒し、2日目は栃木県大田原市富士電機機器制御株式会社大田原事業所を見学後、大谷石採石場跡を見学する工程で開催された。

15日朝8時55分大宮ソニックシティ周辺のバス乗り場に集合後、参加者19名を乗せた観光バスは、一路栃木県日光市へ出発。東北自動車道経由で栃木県に入り日光水車蔵にて昼食。

道の駅湯西川にて休憩後、水陸

両用バスに乗り換え水上バスツアーへ向かった。バスは一般道からそのままダム湖に入水し移動しながら湖畔の風景を一望。紅葉はすでに終わりがけではあったが、美しい風景を満喫することができた。今回は残念ながら見ることが



出来なかったが、運が良ければニホンカモシカ等野生動物を見ることのできる場合もあるそうだ。クルーズ終了後はダム内の見学を行い、エレベーターにて地上60mにある幅1mのキャットウォークを渡る体験に参加。山々の美しい風景を写真に収めた後、本日の宿泊地湯西川温泉へ向かった。

湯西川温泉は日光国立公園の中にある温泉で、名前の由来は一級河川利根川水系の「湯西川」の渓谷



沿いにあることから「湯西川温泉」と名づけられたとのこと、平家落人伝説の里と言われ400年ほど前、落人の子孫が発見したと伝承されている。「壇ノ浦の戦い」に破れた平家が逃げてきてそのまま隠れ住んだといわれており、源氏からの討伐を怖れた落人たちは息を潜めるように暮らしていたとされ、現代になってもその頃の名残りが残っており「端午の節句に鯉のぼりをあげない」「鶏を飼わない」「焚き火等煙を出さない」など、湯西川は今でもそのままの風習が受け継がれている。

宿泊先「花と華」にて部屋ごとに分かれ、アルカリ泉質の湯で旅の疲れを癒した後、18時より宴会場にて夕食となった。黒澤理事長の挨拶の後、今井相談役が乾杯の音頭をとられ、終始和やかな雰囲気です。石下相談役の締め挨拶で散会となった。翌日旅館を出発した後、大田原市の富士電機機



きをする作業は人間が…というように機械による自動化と人間による作業を巧みに使い分けた作業工程・作業者個々人が何の作業ができるか？どの位能力があるかを詳細に見える化したスキルシート等が印象的だった。

器制御株式会社を視察、同社は電磁閉閉器・ブレーカー等の電動機制御機器の分野で国内トップシェアを誇る。挨拶とガイダンスを済ませた後製造現場を視察、5sの行き届いた作業現場では大量生産且つ素早く正確な作業がある部分は機械が、梱包・最終組み付け、目視検査など人間の感覚が重要な働

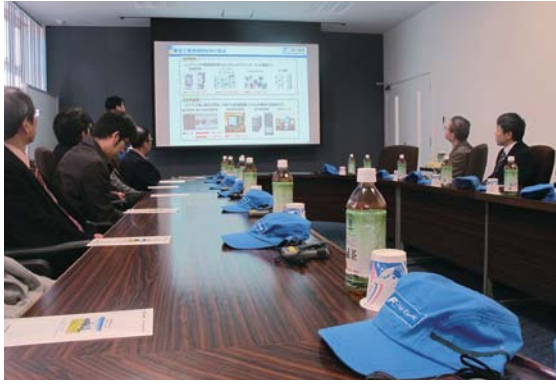
謝辞、写真撮影の後工場を後にし、昼食に宇都宮名物の餃子をいただいた後、この旅行最後の見学場所大谷石採石場跡へと到着、コンサートやテレビ・映画の撮影場所としても広く使われている。ポランティアガイドの熱心な説明を聞きながら地下に降りてみると予想をはるかに超える広大な空間で、幻想的な照明とひんやりとした空気が現実を忘れさせる。今こそライトアップされ綺麗に整備されているものの当時は明り取りの窓から漏れるわずかな光で作業を行う過酷な環境でつるはし一本で石を切り出したそう。今でも壁に残された切り出しの跡に帝国

ホテル等日本の近代建築を支えた
作業者の苦勞がしのばれた。

バスは帰路に就き東北自動車道
羽生PAで土産を選んだ後、17時
頃解散場所となるソニックシティ
に到着、無事に今回の視察研修旅
行を終了した。

今回、お忙しい中ご参加いただき
ました皆様、本当に有難う御座い
ました。厚く御礼申し上げます。

総務委員 山本隆治



平成27年度関東甲信越静ブロック会



平成27年11月4日(水)全鍍連関
東甲信越静ブロック会議(1都10
県)が埼玉県さいたま市パレスホ
テル大宮において87名の参加で埼
玉組合、群馬組合の共同幹事にて
開催された。
午後2時より埼玉組合伊藤麻美

副理事長の司会で始められ、同氏
の開会の言葉に続き、幹事県を代
表して埼玉組合黒澤久理事長が
「ようこそ埼玉へ」と埼玉県各地名
産物等の紹介を含め挨拶をした。
続いて、来賓挨拶として全鍍連
栗原敏郎会長が自身の会長再選、
全国めつきコンクルの応募件数
の過去最高記録更新、各種規制が
ますます厳しさを増すと挨拶し
た。

来賓挨拶として埼玉県上田清司
知事からの祝辞を司会が代読。
続いて、幹事県の黒澤久理事長、
共同幹事の群馬組合の武藤澄雄理
事長両名が議長に選出され議事に
入った。
まず、各県の取り組み発表を、各
県の代表が三分間と時間を区切り
発表。

続いて、全鍍連報告として、全鍍

連清水篤人専務理事より平成26年
度の事業実施結果、平成27年度事
業計画実施状況を報告。窒素、ホ
ウ素、フッ素、亜鉛の排水暫定基準
において、窒素規制は暫定基準延
長の要望をしない、ホウ素、フッ
素は要望中、亜鉛に関しては要望



をする方向とのこと。また、全国めっき技術コンクールに過去最高の308件の応募があったこと。めっき訓練校へ生徒を派遣している事業者向けの助成金の取り扱いを紹介した。その後、平成28年度幹事県として栃木県、茨城県、千葉県が発表され、栃木組合林直昭理事長が挨拶した。

休憩の後、記念講演として株式会社ハイデイ日高代表取締役会長 神田正様に「5坪のお店から上場



企業へ「客も従業員も幸せにする人情経営」と題し、「ラーメン屋を始めたきっかけ、上場に至るまで、特に従業員との共存共栄方法、75歳でも今だ持っている店舗数拡大と世界進出のロマンを語って頂きました。

午後6時より同ホテル宴会場にて懇親会を開催。群馬組合武藤澄雄理事長の挨拶。埼玉県産業技術センター長の挨拶を同センター技術支援高橋利男室長が代読。全鏡



連清水篤人専務理事に乾杯の音頭がとられ、ジャズバンド演奏をバックに和やかに懇親を深め、群馬県組合青年部入江邦成会長の閉会の辞により中締めとなった。



全 鍍 連 第53回全国大会



平成27年11月20日14時より東京都港区にある機械振興会館にて「第53回全国大会」が全国の公共組合員が出席して開催された。埼玉県からは、仁科顧問理事、小林直前理事長、伊藤副理事長、出野専務理事、饗場監事が参加して組合功労役員表彰、環境整備優良事業所表彰並びに認定事業所発表、全国めつき技術コンクールの表彰や第

53回全国大会の大会宣言(スローガン)として

「日本の力 めっきの力」変化にチャレンジ めっき業の誇りと業界の絆」が採択に立ち会った。

当日は、栗原全鍍連会長のご挨拶の後に、組合功労役員表彰、環境整備優良事業所表彰、全国めつき技術コンクール表彰、卓越した技能者表彰が各受賞者に手渡された。今回埼玉県からは環境整備優良事業所認定事業所として第4支部の有限会社吉田商店が該当となりました。全国めつきコンクールでは数社のチャレンジがあったと聞いていたが、300を超える参加社の中で、東京の鍍金学校から参加された埼玉の事業所様の従業員さんが全鍍連会長賞を受賞されたことに技術の継承がなされていることの安堵を感じております。卓越した技能者表彰には、山形県

の今野高志様(ジャスト株式会社)が長年の功績が評価されての受賞となりました。埼玉会で11月7日に工場見学をさせていただきゆりのある方の受賞に心よりお喜び申し上げます。

電気めつき業が取り組んでいく課題は大きく三つあります。一つは、様々な環境問題の変化に向き合い、事業を維持すること、二つには、めつき技術コンクールの変化に対応し、新たに技術・技能向上のあり方を検討すること、三つには、リスクという事業継続の変化に向き合い、受注機会の拡大と適正な取引の対応を推進することがあげられます。

そのため、本大会のサブスローガン「変化にチャレンジ めっき業の誇りと業界の絆」は、上述した三つの変化に業界全体がどう対応していくのか、また、電気めつき業が永

続的な力とするには、足元を強固にしながら、どのように事業に取り組みんでいくのかが重要となっています。このことから、世界一のめつき技術に「誇り」を持ちながら、今後、めつき事業者が向き合うべき様々な変化に挑戦するには、業界、組合員、組合員、そして何よりも「人材」の団結が不可欠です。変化に柔軟に対応するには、業界が一丸となって取り組んでいこうという願いが込められています。

監事 饗場功治



『第五十八回埼玉県めつき技術競技会審査会』



平成二十七年十一月二十四日

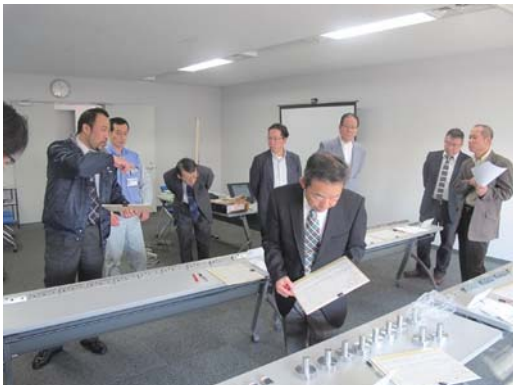
(火)埼玉県産業技術総合センターにて第五十八回めつき技術競技会外観審査会が行なわれました。

本年度は、昨年にて勇退されました東京都大学星野重夫名誉教授に代わり、関東学院大学表面工学研究所の山下嗣人名誉教授が新任され、同センター高橋室長とともにご挨拶を頂戴した後、黒澤理

事長 吉田担当副理事長・各技術委員の紹介が行なわれました。

審査に先立ち、諸案件に関する意見交換や審査実施に関するポイント・方法等の注意事項説明があり、事前に行なわれました各性能試験結果を踏まえ、別室にて各競技部門技術委員二名がそれぞれ審査を実施しました。

審査員二名の評点が分かれた試



料については山下・山崎両先生に最終判定をお願いする形で審査評価が行なわれ、外観検査得点を加算した結果、最終受賞が決定されました。

本年度めつき技術競技会各賞受賞者におかれましては、別表にてご確認ください。

また、本年度は各事業所様に多大なるご協力を賜り、参加企業数三十二社・複数部門応募も含めますと四十四社・申込総料総数は五十件のご参加を頂きました。

昨今の全国的な組合員減少や表面処理加工の多様化対応の中、これだけ沢山のご参加を頂きました事は、ひとえに皆様方のご尽力の賜物と感謝申し上げますとともに、各事業所様の更なる技術向上に役立てて頂く為、本競技会をご活用頂けたらと願う次第です。

最後となりますが、めつき技術

競技会受賞事業所様並びに、排水管理優良受賞事業所様にお祝いを申し上げますとともに、開催するにあたり多大なるご協力を賜りました埼玉県各部門関係各位・本審査員の先生方・埼玉県産業技術総合センター関係各位並びに今回ご参加下さいました全ての事業所様に御礼を申し上げます。

技術委員会委員長 新谷祐司



平成27年度(第58回)埼玉県めっき技術競技会審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部	無電解ニッケルめっきの部
埼玉県知事賞		ふたば工業(株)	(株)トーツー創研 大森 留次	川口ハードクロム工業(有)	石井鍍金工場(有)	(株)東工業
埼玉県産業労働部長賞		(株)甲斐野テックス 久津間 勝明	押尾化学工業(有)	新硬クローム工業(株)	(株)小林鍍金工業	(株)パーツ精工 表面処理事業部 手代木 将 白石 拓也
埼玉県産業技術総合センター長賞		(株)真工社 鈴木 里奈	(有)池澤鍍金工業所 横塚 和行	仁科工業(株) 関川 次郎	(株)大倉 ライン B	吉野電化工業(株)
埼玉県中小企業団体中央会長賞		(有)小林鍍金工業	(株)大宮鍍金工業 飯島 尚	吉野電化工業(株)	(株)東工業	仁科工業(株) 内田 英希
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(株)東工業	(有)阪本鍍金	(株)オーク埼玉工場 飯田 泰史	カツデン(株)	スリーケ(株)
フジサンケイビジネスアイ賞		(有)渡辺鍍金工業所	吉野電化工業(株)	(株)ミドリ技研 山崎 宏昭	(株)大宮鍍金工業 真下 薫	日本電鍍工業(株)
産業通信社賞		(有)今井メッキ工業所	石井鍍金工場(有)	東洋硬化クローム(株) 清家 豊	新田興業(株)	(株)明光社

平成27年度排水管理優良事業所
平成26年10月～平成27年9月
表彰事業所

埼玉県鍍金工業組合理事長表彰	5年連続	第1支部	(有)二幸鍍金工業所
		第5支部	(有)池澤鍍金工業所
			カツデン(株)
	3年連続	第7支部	(有)共栄工業
		第3支部	(有)石井鍍金工場
		第6支部	(株)大宮鍍金工業(本社工場)

連続年数	支 部	プレート授受事業所	連続年数	支 部	プレート授受事業所
4年連続	第1支部	新田興業(株)	1年	第5支部	松原金属工業(株)
1年	〃	(株)真工社	〃	〃	吉野電化工業(株) 第二工場
14年連続	第2支部	(株)崎崎鍍金	18年連続	第6支部	(株)東工業
10年連続	〃	(株)長沢製作所	3年連続	〃	仁科工業(株) (A)
14年連続	第3支部	栄電子工業(株)	2年連続	〃	仁科工業(株) (D)
2年連続	〃	押尾化学工業(有)	1年	〃	仁科工業(株) (B)
1年	〃	(有)関東メッキ工業	〃	〃	仁科工業(株) (E)
3年連続	第4支部	東洋硬化クローム(株)	11年連続	第7支部	(株)精硬クローム工業 (第2工場)
2年連続	〃	(有)吉田商店	4年連続	〃	(有)坂寄鍍研精工
32年連続	第5支部	(株)インワタ	〃	〃	(株)明光社
7年連続	〃	(有)植木硬質クローム工業所	3年連続	〃	(有)小林鍍金工業
2年連続	〃	(有)小林鍍金工業所	2年連続	〃	新硬クローム工業(株)
1年	〃	朝日工業(株)	〃	〃	(株)ダイエイバレル
〃	〃	(株)安藤化成	〃	〃	(有)堤北鍍金
〃	〃	(株)新和エコー (第1工場)	1年	〃	(株)精硬クローム工業 (第1工場)
〃	〃	(株)パーツ精工表面処理事業部			

「トリクロロエチレンの排水基準等の改正」について

「水質汚濁防止法施行規則等の一部を改正する省令」が平成27年9月18日に環境省より公布され、同10月21日より施行されました。今回の省令改正は、トリクロロエチレンの排水基準及び地下水の水質浄化措置命令に関する浄化基準の規制を強化変更するものです。

新しい基準値は以下の表の通り

今回のトリクロロエチレンについての改正された排水基準は、施行期日以降、新たに特定事業場となる事業場は直ちに適用されますが、「水質汚濁防止法施行令別表3」に掲げる施設を設置している特定事業場については1年間の猶予が与えられ、それまでは従前の排水基準が適用されます。

また、今回はトリクロロエチレ

ンのみで、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン等の改正はありませんでした。

分析については、埼玉県鍍金工業組合にご相談ください。
TEL 048-666-2184
トリクロロエチレンの分析料金は1,620円になります。

トリクロロエチレンの排水基準等の改正

基準	改正後の基準値	改正前の基準値
排水基準	0.1mg/L	0.3mg/L
地下水の浄化措置命令に関する浄化基準	0.01mg/L	0.03mg/L

川口市産業技術・技能者顕彰制度表彰



平成二十七年十二月一日(火)埼玉県川口市駅前市民ホールフレンジアにて本年度川口産業功労表彰式に併せて川口市産業技術・技能者顕彰制度表彰式が行われました。

当組合技術委員会に同市経済部労政課より本制度応募依頼の打診があり、同市内事業所にて構成されております第七支部の株式会社明光社会長石下一明氏が応募され、見事「川口耀き賞」を受賞されました。

顕彰制度各賞は、「かわぐち」の頭文字を取って「川口耀き賞」・「川

口技あり賞」・「川口グッドデザイン賞」・「川口チャレンジ賞」の計四賞から構成されており、更に川口産業技術・技能者大賞が同制度審査員満場一致で受賞されます。

石下氏のお話によりますと、今回の選考審査に伴う書面作成や技術内容を説明する際の得意先との守秘義務協定など対応に苦慮されたとの事ですが、永年に亘る熟練しためっき技術能力や多様な難めっき素材に対する技術への探究並びに成果、当組合役員としての貢献や若手事業者への技術指導等が多大に評価されました。

表彰式では受賞者筆頭として石下氏が表彰され、同じく勤続功労者で表彰されましたご息女と一緒に式典後の懇親会を楽しまれた様です。

終わりに、株式会社明光社会長石下氏の受賞をお祝い申し上げます。

すとともに、技術委員会と致しましては今後も各事業所様所在地にて同様の技術顕彰制度等がございましたら、応援・協力をさせて頂く所存でございますので、埼玉県内の更なるめつき技術向上並びに業界発展の為にご指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

技術委員会委員長 新谷祐司



編集後記

大谷石(おおやいし)は軽石凝灰岩の一種。栃木県宇都宮市北西部の大谷町付近一帯で採掘される石材。柔らかく加工がし易いことから、古くから外壁や土蔵などの建材として使用されており、耐火性・蓄熱性の高さからパン釜やピザ釜等、石釜の構造材としても用いられている。



大正時代にはフランク・ロイド・ライト設計の帝国ホテルライト館の建材として使用されたが、その完成披露宴の当日である1923年9月1日、披露宴の準備の最中に関東大震災に遭遇し、小規模な損傷を受けたもののほぼ無傷なままで残ったというエピソードも・・・現在残る地下採掘場所は、1919年(大正8年)から1986年(昭和61年)までの約70年をかけて、大谷石を掘り出して出来た巨大な地下空間。その規模は高さ30メートル広さ2万平方メートル(140m×150m)にもおよび、野球場が一つ入ってしまう大きさ、その雰囲気は美しくライトアップされたことも相まって「地下神殿」といった趣き、映画の撮影、コンサート、結婚式等多くのイベントに活用されている。

資料館には手掘り時代から機械化された近代までの貴重な道具が展示され日本の発展を支えた大谷

石採掘の歴史をたどることが出来る。

大谷資料館 WEBページ

<http://www.oya909.co.jp/>



印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL 03(3875)1641